

秋の火災予防運動が始まります



全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

令和7年10月15日（水）～同年10月31日（金）まで秋の火災予防運動を実施します。ストーブ火災が発生しやすい時期であるため、日頃からストーブ火災が起こらない環境づくりをお願いします。

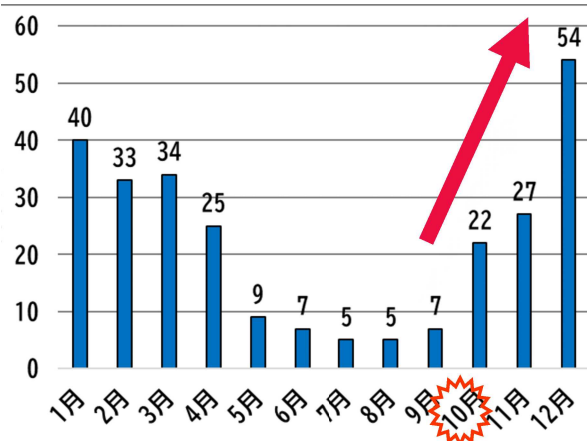
○ ストーブ火災の発生傾向

右のグラフは、ストーブ火災の件数を月ごとにまとめたものです（札幌市の過去10年間の合計）。

ストーブを使い始める10月頃からストーブ火災が増加していることがわかります。

ストーブ火災が発生しやすい季節のため、ストーブの取扱いには十分気をつけましょう。

【月ごとのストーブ火災の件数（札幌市の過去10年間の合計）】



○ ストーブ火災を防ぐためには

ストーブ火災が発生する要因で多いのは、①可燃物が動いて火源に触れる。②輻射を受けて発火する。③可燃物が火源の上に転倒落下する。です。就寝中に布団が動いてストーブに接触してしまったことや洗濯物がストーブの上に落下したことなどで火災が発生しています。

以下のポイントをチェックし、火災危険がないか確認するほか、ストーブを清掃・点検していないことで火災となった事例もあるため、定期的な、清掃・点検を行うことも大切です。

ストーブ火災の予防ポイント

- ☐ 燃えやすい物を近くに置かない。
- ☐ 洗濯物をストーブの上に干さない。
- ☐ 外出する時や寝る時は、火を消す。
- ☐ 給油する際は、火を消して、熱いうちには行わない。
- ☐ 灯油ストーブに、間違ってガソリンを給油しない。



○ 電気火災とたばこ火災に注意！

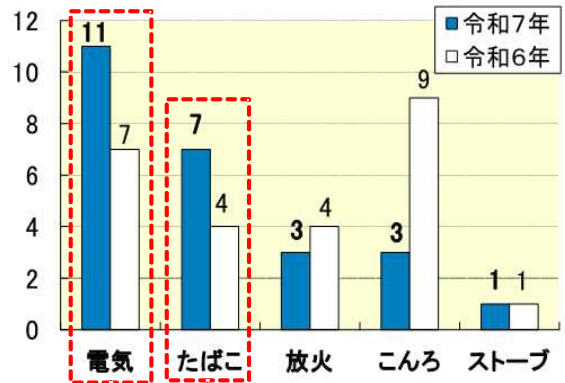
東区では、電気火災とたばこ火災が増加しています（令和7年9月15日現在）。

電気火災は、例年延長コードなどのコード類からの出火が多く発生していますが、リチウムイオン電池の火災が増加傾向にあります。

また、たばこ火災は、例年たばこの火種が落下したことや消火されていないたばこをごみ箱等に捨てたことでの火災が多くなっています。

以下のポイントを確認し、火災が起こらない環境づくりをお願いします。

【東区の主な火災原因の件数】



電気火災の予防ポイント

【コード類の火災を予防するポイント】

- ☐ コードが傷んだものを使わない
- ☐ コードを重い物の下敷きにしない
- ☐ コンセントにほこりをためない
- ☐ コードを束ねて使わない
- ☐ たこ足配線をしない。

【リチウムイオン電池の火災を予防するポイント】

- ☐ 充電器やバッテリーはメーカー指定の純正品を使用する。
- ☐ 定期的に深いキズや変形、焦げ跡などの異常がないか確認し、異常を発見した場合は使用せず、不燃性の缶等に入れ、販売店に相談する。
- ☐ むやみに分解・修理・改造しない。
- ☐ ルールを守って適切に廃棄する。
- ☐ 消費者庁やNITE（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）のホームページでリコール情報を確認する。



【消費者庁 HP】



【NITE HP】

たばこ火災の予防ポイント

- ☐ 歩きたばこをしない。
- ☐ たばこの吸い殻は、水に浸けてから捨てる。
- ☐ 寝たばこをしない。
- ☐ 灰皿にたばこの吸い殻をためない。



【担当】

札幌市東消防署予防課防火推進係

札幌市東区北24条東17丁目 TEL 011-781-2100